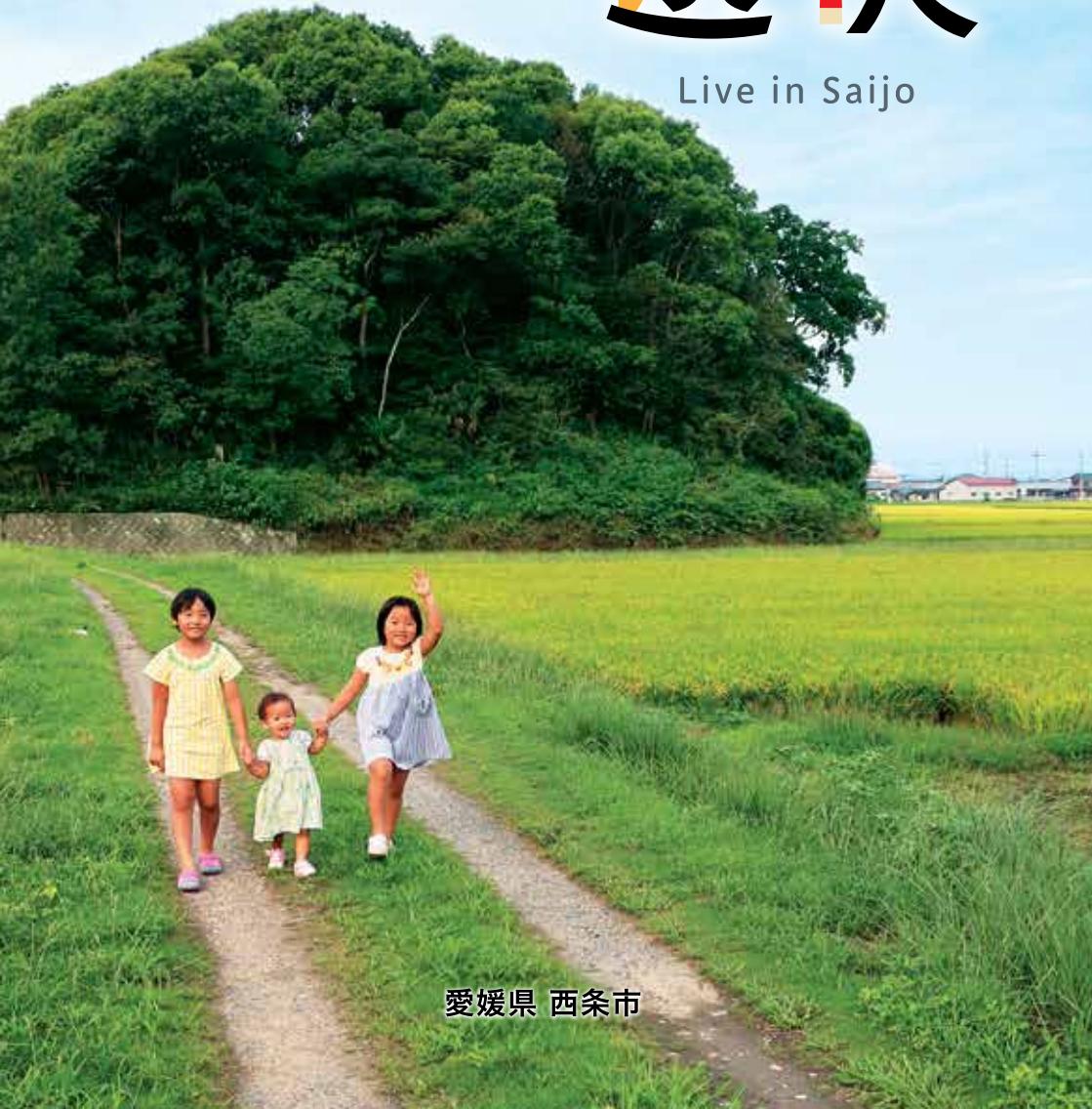


西条の 翼

Live in Sajo



愛媛県 西条市



道後・松山から1時間少々。
愛媛県の東部に、
南は西日本最高峰の石鎚山、
北は瀬戸内海を望む西条市があります。
気候は一年を通して温暖で、
うちぬきという良質な水が自噴しています。
豊かな自然環境と水のおかげで、
さまざまな農作物が育ち、
大手企業の工場や元気な中小企業も
たくさんあります。



このまちに住む多くの人は、農業をしたり、まちなかに住んだりと思い思いのライフスタイルを実現しているようです。

では、西条市を選んだみなさんの暮らしをのぞいてみましょう。

本格的に移住を進めるため、大阪の家も引き払い仕事も辞め、「絶対に農業をやる」という強い決意と背水の陣で移住先を探しましたね。県の移住担当の方も真摯に対応してくれて助かりました。

もちろん移住に対して不安はありました。ですが、私たちの場合、「近所さんに恵まれました

これからは農業自体をさまざまに人々と一緒にやりたいと思っています。例えば、学校が苦手な子や障がいを持つた子たちも関われるような農園の形を模索しています。農園自体に癒しやリラックス効果があると感じています。

い　ま　す。ぜ　ひ　ぜ　ひ、移　住　や　農　業
に　興　味　の　あ　る　人　は　西　条　市　に　来　て
く　だ　さ　こ。



(右)地元の小学生を集めて「古代米の田植え＆生き物観察会」を実施。
(左)神奈川から移住してきた松本さんと。

農業をするのに最適の場所です

私の場合「農業をする」ということが大前提でし

た。私の実家の熊本と、妻の実家の大阪、その間にある場所を移住先にしようと、軽ワゴンで農家を訪ね歩きました。一年中農業ができるよう「冬でも暖かい」「獣の被害が少ない」「家から歩いていける距離に田んぼがある」、その条件にマッチしたのが、ここ愛媛の西条市だったんです。

たれ 大きな口をひらくと、
ただいたり、足踏み脱穀機や製
粉機をいただいたり、豆腐づくり
りを教わつたり。どこかに出掛け
て帰つてくる度に、玄関前に白
菜や人参が置いてあることもあ
りました。米がなくなつた途端、
「米いるか」と持ってきてくだ
さつた時はびっくりしましたね。
農業をするために移住したのに、
その必要がないくらい、皆さんに

魅力を発信する」という次のステップに移りたいです。

今、一いつして西条市で農業をしながら暮らしていると、移住してきたよかったですね。

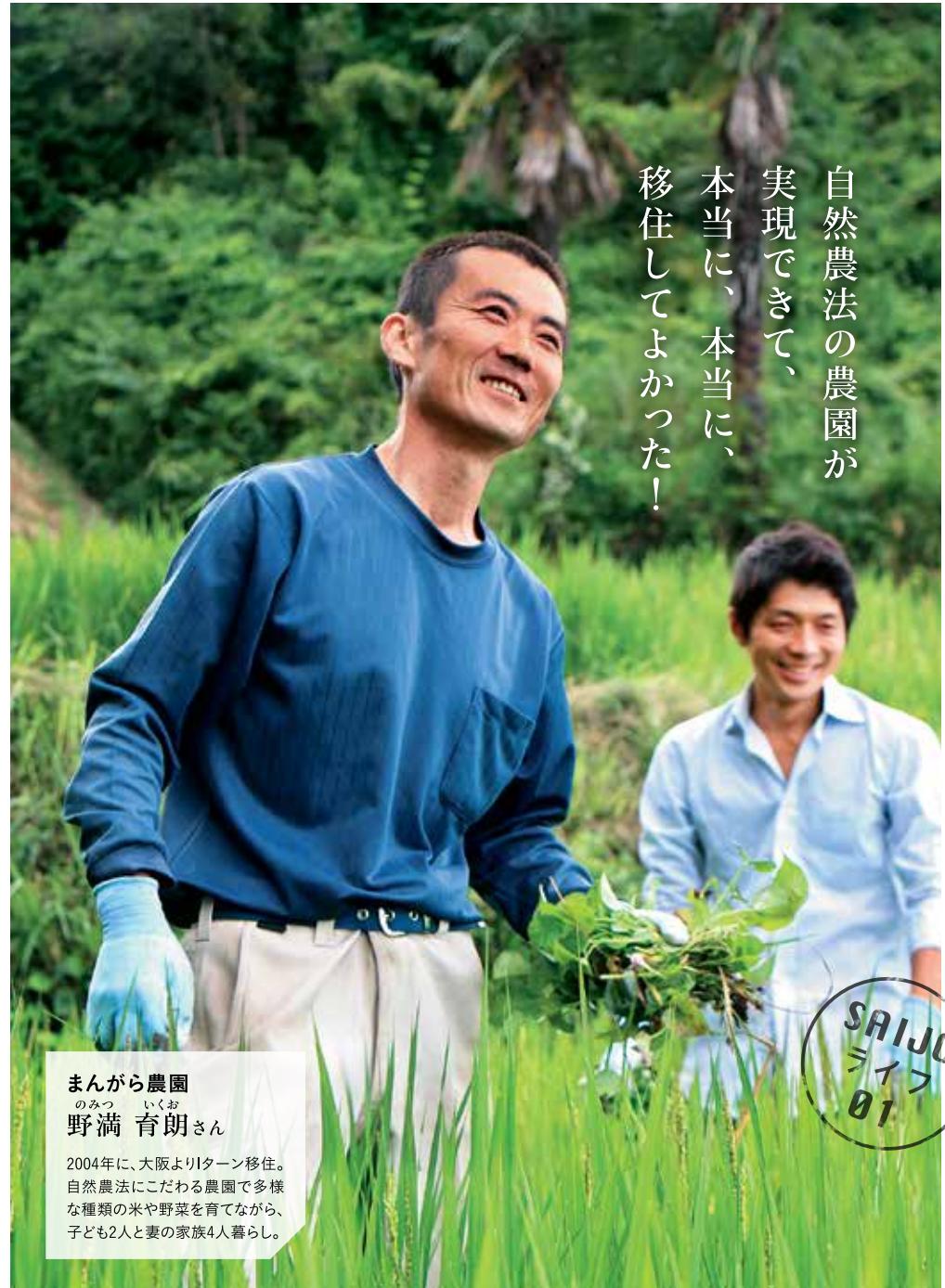
「近所さんにも恵まれ、農業ものびのびとできるし、自然に囲

農業をするのに最

の場所です

まんがら農園
のみつ いくお
野満 育朗さん

2004年に、大阪よりリターン移住。
自然農法にこだわる農園で多様
な種類の米や野菜を育てながら、
子ども2人と妻の家族4人暮らし。



小さなことに
幸せを感じる毎日。
子どもにとつても
良い環境です



西条市は子どもと一緒に楽しく過ごせる場所

私

たち夫婦はともに新居浜市出身で、大学進学を機に東京に出ました。就職、結婚、出産の時期を東京で過ごし、30歳を前にして転職を決め、愛媛に帰郷することになったんです。夫は、結婚する前からいざれ地元に帰りたいと思っていたようでした。でも正直私は、このままずっと東京で暮らしたいと思つていました。友人もほとんど東京にしかいなかったのもありますし、田舎暮らしにまったく惹かれてもいなかつたんです。引っ越しが決まった時も、「ついにこの時が来たのか」と諦めの気持ちしかなくて。嫌々移住した感じでしたね。ですが、引っ越しして、実際に西条市で暮らし始め、考え方が180度変わりました。自

分でもびっくりするぐらいです。東京にいる時は大きな会社に勤めてバリバリ稼いでというスタイルが良しとされているような感じでしたが、「こちらは自分が何をすることで幸せを感じるか」ということに、重きを置いている人が多いように感じました。幸せの価値観について気付かされた感じですね。その証拠に、とても小さなことに幸せを感じるようになります。西条の地元のものを子どもたちに食べさせてあげられることが、自然の中で四季を感じながら過ごせること、畑や田んぼのある風景がきれいだなと思うこと。そんなふとした小さなことです

して何かできないか計画中です。子どもたちは西条に来て、すこいくらいとしていますね。水遊びが大好きなので、市民公園の水辺に毎日通つたり、ピクニックシートを広げてお弁当を食べたことがあります。子どもたちは外遊びがすごく好きになりました。子育て支援センターの「ひだまり」にも通っていますが、皆さん親戚の子どものように接してくださいます。西条市の人はフレンドリーですよ。



休日には家族でカフェを巡ったり、ピクニックしたり。都会だと「子どもだけ」楽しむ感じですが、こちらだと「みんなで」楽しむ感覚です。

このまちは、子どもと一緒に楽しい過ごせること、みんなで楽しむ。そんな場所は、「ここ」西条

なつたので、自分のスキルを活かにしかないと思いますよ。

しらいし はるこ
白石 治子さん

2015年に、東京、松山市を経て西条市へ移住。子ども2人と夫の家族4人暮らし。自分の経験を活かした活動を計画中。

都 内の企業からの転職をきっかけに地元の愛媛県に戻ることになりました。現在の職場のある西条市に移住してきました。

実際に西条市に暮らしてみて、「ココが全然ダメ」と思うことがないですね。本当に困ったことがないんです。交通の便も住環境も十分整っていて。このまちは、さまざまな暮らし方を実現できる。都市面と田舎面、バランスの良いまちです。「移住」というと、自分を取り巻く生活環境がすべて変わるので、不安が大きいと思います。ですが、好きになつてから来るというより、来てみて好きになるものだと思います。あまり身構えないで、気になれば一度訪れてみてください。



妻は市内勤務の傍ら、愛媛東予地域で活動する音楽グループに参加。地域発信のイベントも多数あり、文化的活動ができるのも西条の魅力です。

「転職」がすべてのきっかけでした



いけうち しんいち
池内 伸一さん
松山市出身。2000年に神奈川県川崎市より移住。夫婦で共働きしながら、子ども2人の家族4人で西条暮らしを満喫中。

西条市での暮らしで困ったと思つたことが本当にないんです



くりはら
栗原 さん一家
(直さん、雅子さん、広太郎くん)

茨城県つくば市より、近隣市への単身赴任を経て家族3人で移住。地域行事に積極的に参加している。

また、地域のつながりが強いところも魅力ですね。縁もゆかりもなかつた私たちを温かく迎えてくださり、多くのことを教えていただいています。都会にはない「つながり」がありますよ。



獅子舞など地域の行事はとても多いですが、参加することで顔見知りもどんどん増え、地域の人との仲も深まっていくことを実感しています。



条市内の田瀧小学校の公開授業を見に行ったことがあつたんです。その時の子どもたちがすごく楽しそうで、目がキラキラとしていて。「ここに子どもを通わせたい！」と思って、西条市に移住しました。小規模校ということで人数は少ないですが、その分、先生の目も行き届くし、他の学年とも交流があり、地域の人も一緒に見守ってくれる。また、ICT※などの最先端教育を取り入れて、教育環境はとてもいいと思います。



さくらい
櫻井さん夫婦
(啓太さん、明日香さん)

2015年に東京より移住。「くらしとごはんリクル」を経営し、子ども2人の家族4人で暮らしている。

私たちが開いているカフェ「くらしとごはんリクル」では、西条市の産品を多く使ったメニューを提供しています。農家の方とのつながりづくりにもなっていますね。農家の方が自信を持つて美味しいと言っているものを使えること、そしてそれをお客様に提供できることで、地域と店とお客様が一つになる気がするんです。

西条市の食材や水は本当に美味しい！普通にご飯を炊くだけでも美味しいんです。自分たちの店だけが恩恵を受けるのではなく、地域の良さを広く知つてもらい、地域全体が良くなつていく。自分たちがメニューとして提供することで西条産品のPRになればと思います。



初めて西条祭りに参加！右も左も分からぬままの参加でしたが、すっかり溶け込みました。今ではキンモクセイの香りが待ち遠しい程、その季節になるのが楽しみです。



地域全体が良くなればと思います

最初に西条の水を飲んだ時、衝撃でした。「どしたん、これ」と。大阪も水都と言われていますが、西条の水には負けた！と思いましたね。元々サラリーマンをしていましたが、一念発起して妻の地元である西条市で蕎麦屋を始めようと決意しました。

移住して気付いたのは、人に対する心のドアの開け方。産業情報支援センター※に起業支援をお願いしたり、地域の人との交流を積極的にしていくなど、よそ者意識を捨て自分からドアを開くことで変わりましたね。西条の人には本当に助けられました。店も軌道に乗り、今ではガツツリ自分も西条人。自分と同じような心意気を持った人が来たら、いろいろアドバイスしたいですね。



実行委員会として参加する音楽フェスで、メジャーなアーティストは自分たちで呼び、地元のアーティストや飲食店・雑貨店などのショップも多数出店します。



水を飲んでこんなに衝撃を受けたことはなかつたです



おぎはら こうしん
萩原 甲慎さん

2004年に大阪より移住。現在は、人気蕎麦屋「西条そば甲」を経営し、子ども3人と妻の家族5人暮らし。

西条の人に本当に助けられました

最初に西条の水を飲んだ時、衝撃でした。「どしたん、これ」と。大阪も水都と言われていますが、西条の水には負けた！と思いましたね。元々サラリーマンをしていましたが、一念発起して妻の地元である西条市で蕎麦屋を始めようと決意しました。

移住して気付いたのは、人に対する心のドアの開け方。産業情報支援センター※に起業支援をお願いしたり、地域の人との交流を積極的にしていくなど、よそ者意識を捨て自分からドアを開くことで変わりましたね。西条の人には本当に助けられました。店も軌道に乗り、今ではガツツリ自分も西条人。自分と同じような心意気を持った人が来たら、いろいろアドバイスしたいですね。



実行委員会として参加する音楽フェスで、メジャーなアーティストは自分たちで呼び、地元のアーティストや飲食店・雑貨店などのショップも多数出店します。

農業都市として有名



工業都市でもある

臨海部は四国屈指の製造品等出荷額を有する工業集積地です。また、地域に根ざした新産業の創出にも取り組む元気なまちです。

田舎だけど アクセスがいい

電車、高速道路、国道、港と、多様な交通機関がそろっているので、市内外のアクセスは良好！いろんな所に出かけちゃおう！



買い物が便利

生活圏には、大型のショッピングセンターをはじめ、ドラッグストアや電器店、飲食店など、さまざまな種類の店舗がそろっています。交通の便も良く、買い物がしやすいまちです。

子育ても安心

放課後児童クラブ

雇用、就労などにより保護者が自宅にいない家庭の小学1年生から6年生までの児童を対象に、授業終了後、遊びを通じた集団生活の中で豊かな人間性を養う場を提供。

保育料の負担軽減

西条市の保育料は、平均すると県内他市と比べて低額に設定。また、年収が一定額以下の世帯は、2人目半額、3人目以降無料。ひとり親世帯についても負担軽減策を講じている。

こども医療費助成制度

西条市では、子どもの健やかな成長を願い、西条市内在住の中学生以下の子どもに対して保険診療による医療費の自己負担分（入院・外来）の全額助成を行っている。

上水道代が0円！？

西条市は、良質な地下水が豊富で、上水道代が0円の地域もあります。石鎚山系の伏流水「うちぬき」は名水百選に選ばれ、きき水大会で2年連続日本一になったことも。



西日本最高峰の 石鎚山

標高1,982m、四国の屋根であり日本百名山の一つである石鎚山をはじめ、海・山・川といった、豊かな自然に囲まれています。

市って こんなとこ

Welcome to Saijo

豊かな自然の中でのびのびと育てられるだけでなく、保育料の軽減など、子育て世代にとってうれしい制度も豊富。



子育て 世代におすすめ

西条まつり 中は、 休校です

奉納される約150台の屋台数が日本一とも称される、江戸時代から続く伝統的な秋祭り。市民の大多数が祭りに参加するため、学校や企業が休みになる地域も！



ご安心ください 西条市移住支援

青年就農給付金

恵まれた気候と水質により盛んな農業の分野において、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の就農者に対して給付金で支援している。

移住者住宅改修支援事業

西条市内にある空き家の有効活用を図り、移住定住を促進するため、空き家バンク等を通じて購入・賃借した一戸建て住宅を県外からの移住者が改修する場合の費用に対して、補助金を交付。

西条市空き家バンク

西条市空き家バンクでは、市内の空き家情報を市HPに掲載し、西条市への移住希望者への住宅情報を提供している。エリア別にも掲載しているため、興味のある地域からの索引も可能。

移住
相談員
interview



のじま たかこ
野島 貴子さん

田舎暮らしに憧れて夫と子どもとともに移住。3年前から、移住相談員として移住希望者と地域との橋渡しを行っている。

**お金では
買うことのできない
心の豊かさを実感できます**

トラクターが故障したら近所の人が直してくれたり、おすそ分けしたらそれ以上のものが返ってきたり…。合理的な世の中になってきている今、こんなに素晴らしい集落・人々はいないと、多くの人に知ってほしくて、移住のお手伝いを始めました。

ここには、お金では買えない幸せがあって、移住してきてよかったです。西条市は、さまざまな資源が豊かなまち。移住者が望むライフスタイルに合った場所が見つかるよう、自分が移住に際して経験したことを伝えながら支援ていきたいと思っています。



**B
田園エリア**

少し歩けば一面の田んぼが広がる開けたエリア。夏には緑色の稲がそよぎ、秋には金色の穂によってまちが染まり、四季の移ろいを間近で感じることができます。



**A
まちなかエリア**

江戸時代から栄えてきたまちや、駅や幹線道路に近く、新しく整備されたまちのあるエリア。生活に必要なものが自転車や徒歩圏内ですぐ手に入る、利便性No.1の場所です。



**D
里山農村エリア**

なだらかな傾斜地で、柿をはじめとする果樹栽培が盛んなエリア。心がほっこりと癒される田舎の風景が一面に広がっています。主に丹原地区あたり。



**E
お山エリア**

市街地から車で約20分。石鎚山系や高龜山系の裾野に広がるエリア。山や渓谷が身近にあり、昔ながらの住居や生活様式が残る風情あふれる場所です。



久万高原町

東温市

SAIJO

AREA MAP

海・山・川すべてある西条市だから、
自分に合った多彩な暮らしが選べます。

**C
沿岸部エリア**

港やビーチ、干潟などがあるエリア。海風を体で感じながら暮らすことができます。朝日と夕日それぞれの陽に照られた瀬戸内海は美しく、一見の価値あり。





あなたにとって
西条市への移住が、
最上の選択となりますように。

誰もがまちに溶け込んでいきます。

お気に入りの場所、お気に入りの店、親しい人たち。



西条市への移住に興味を持ったら…

西条市総合政策課までお問い合わせください!

移住に関する各種相談のできる

えひめ地域移住相談員をご紹介します。

TEL:0897-52-1476(平日8:30~17:15)



西川 錠孝さん 山之内 良文さん



野溝 育朗さん



藤田 敏さん



野島 貴子さん

移住についての相談は…

就職先を調べたい

西条市産業振興課

雇用や支援の情報を数多く紹介

<http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/sangyoshinko/>

起業を考えている

西条市産業情報支援センター (サイクス)

起業希望者への情報提供やセミナーなどを実施

<http://www.saijo-sics.co.jp>

家を探したい

西条市 空き家バンク

市内の空き家情報を
エリアで分かりやすく紹介



<http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/sogoseisaku/akiya-bank.html>

市営住宅情報

市営住宅の申込方法や募集期間などを掲載

<http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/shisetsu/benri9-1.html>

就農について知りたい

西条市農業水産課

農業・漁業に関する情報を提供

<http://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/nogyosusan/>

愛媛県西条市移住ガイド

発行:西条市

〒793-8601

愛媛県西条市明屋敷164番地

TEL:0897-56-5151(代表)

<http://www.city.saijo.ehime.jp>

発行年月:平成28(2016)年10月



西条市HP

